

株主優待のご案内

株主優待乗車券および株主優待乗車証

ご所有株式数	乗車券または乗車証の種類	枚数
1,000株以上 20,000株未満	当社線全線通用乗車券	1,000株 につき3枚
20,000株以上 34,000株未満		60枚
34,000株以上 48,000株未満	当社線全線通用乗車証 (定期券型式)	1枚
48,000株以上 100,000株未満		1枚
100,000株以上 300,000株未満	当社線全線・京阪バス線 通用乗車証 (定期券型式)	2枚
300,000株以上 500,000株未満		3枚
500,000株以上 1,000,000株未満		5枚
1,000,000株以上		10枚

- 乗車券は1回のご乗車につき1枚必要です(京阪線と大津線・鋼索線を乗り継ぎされる場合にはそれぞれ1枚必要です)。
- 乗車証は記名ご本人以外の方(持参人1名)もご使用いただけます。
- 当社線全線・京阪バス線通用の乗車証では、京阪バス線の定期観光路線、高遠線、空港線、自治体運行主体のコミュニティバス路線にはご乗車できません。
なお、一般路線につきましても、路線再編等によりご利用区間が変更される場合があります。
- 乗車券・乗車証では京都市地下鉄線(三条京阪・御陵間を含む)にはご乗車できません。
- 災害等による当社線不通の際、他社線への振替輸送の取扱いはいたしません。

ひらかたパークご招待

ひらかたパーク株主ご招待入園引換券2枚(ご招待用乗車券4枚付)を1,000株以上ご所有の株主様に贈呈いたします。

送付時期(年2回)および有効期間

対象	送付時期	乗車証の有効期間	乗車券、ひらかたパークご招待券 その他のご優待券の有効期間
3月31日現在の株主様	6月下旬	7月11日～1月10日	6月下旬～1月10日
9月30日現在の株主様	12月中旬	1月11日～7月10日	12月中旬～7月10日

京阪電気鉄道株式会社

〒540-6591 大阪市中央区大手前1丁目7番31号
 株主担当 TEL(06)6944-2521 広報担当 TEL(06)6945-4585
 ホームページアドレス <http://www.keihan.co.jp/>



その他のご優待 (1,000株以上ご所有株主様)

平成19年12月現在

施設名	ご優待内容	枚数
ひらかたパーク	アトラクションカード1,500円券を1,000円に割引	4枚
京阪百貨店	お買物10%割引(商品により5%割引又は割引除外あり) ギャラリー入場券(無料)	20枚 5枚
京阪園芸 (クラブオンat京阪・フロアリスト京阪)	お買物10%割引	2枚
ホテル京阪天満橋 ホテル京阪京橋 ホテル京阪京都 京都タワーホテル 京都タワーホテル アネックス 京都第2タワーホテル 琵琶湖ホテル	通常客室料金20%割引 ※琵琶湖ホテルについては、ご利用にならない期間がございます。直接ホテルにご確認ください。	6枚
ホテル京阪 ユニバーサル・シティ	通常客室料金20%割引 ※年末・年始・ゴールデンウィーク・夏シーズンの各期間中はご利用になれません。	2枚
大山レークホテル	基本宿泊料20%割引(1泊2食付) ※年末・年始・ゴールデンウィーク・お盆の各期間中は0%割引。	2枚
ロテルド・比叡	基本宿泊料20%割引(1泊朝食付) ※クリスマス・年末・年始・ゴールデンウィーク・お盆の各期間中はご利用になれません。	2枚
ロレーヌ(ホテル京阪京橋7F) オーク(ホテル京阪京都13F) 近江(京阪モール ホテル館6F)	ご飲食20%割引 ※クリスマスの期間中はご利用になれません。	2枚
京都タワーホテル レストラン「ラトゥール」 スカイラウンジ「空」・KUU- 中華塔苑 京料理伏水	ご飲食10%割引 ※クリスマス・年末・年始・ゴールデンウィークの各期間中はご利用になれません。	2枚
ホテル京阪 ユニバーサル・シティ ハイキングレストラン「ワールド・ワールドパルティ」	ご飲食10%割引	2枚
ロテルド・比叡 レストラン「ロワソフ・ブルー」 カフェ「カフェ・ド・レレル」	ご飲食10%割引 ※クリスマス・年末・年始・ゴールデンウィーク・お盆の各期間中はご利用になれません。	2枚
パナソニック(京阪天満橋駅構内) 京阪淀屋橋食道街(日生淀屋橋ビルB2F)	ご飲食10%割引	5枚
大阪水上バス アクアライナー	ご乗船料20%割引※春シーズンはご利用になれません。	2枚
大阪水上バス サンタマリア	デイクルーズご乗船料20%割引	2枚
比叡山坂本ケーブル	普通運賃20%割引	2枚
比叡山ドライブウェイ 奥比叡ドライブウェイ	通行料金300円割引	2枚
ガーデンミュージアム比叡	入園料金20%割引	2枚
京阪交通社	国内・海外パッケージツアー-5%割引(商品により3%割引又は割引除外あり)	1枚
くずはゴルフ場	平日6,670円、土日祝日9,300円(18ホール料金)	2枚
福井国際カントリークラブ	プレーご利用1名様につきゴルフボール2個進呈	1枚
浜大津アーカス 大津ボウル	1ゲーム260円※特別料金期間(正月等)はご利用になれません。	2枚
浜大津アーカス カラオケスタジオB-HIVE	カラオケルーム料金500円割引	2枚

※一部割引対象外の商品等があります。 ※他の割引制度とは重ねてご利用になれません。
 ※施設によっては、ご利用にならない期間がございますので、予めご確認ください。
 ※ご優待の内容、対象施設については、予告なく変更する場合がございますので、ご了承ください。



京阪

第86期

中間期 株主通信

平成19年4月1日から平成19年9月30日まで



© 2007 Gullane(Thomas)Limited



「競争力のある一回り大きな企業グループ」へ

代表取締役社長
COO
執行役員社長

上田成之助



第86期中間期株主通信をお届けするにあたり、株主のみなさまの平素からのご厚情に、心から御礼申し上げます。

連結中間純利益は41億円を計上

当中間期の業績をご報告させていただきますと、連結では、当社グループにおきまして各事業にわたり積極的な営業活動を行い、業績の向上に努めました結果、営業収益は1,279億4千1百万円（前年同期比0.1%増）、経常利益は74億9千8百万円（前年同期比5.1%減）、中間純利益は41億8千2百万円（前年同期比6.3%増）となりました。

一方、当社単体におきましては、営業収益は375億7千2百万円（前年同期比1.8%増）、経常利益は65億9千9百万円（前年同期比13.9%増）、中間純利益は31億9千万円（前年同期比16.3%増）となっております。

また、当期の中間配当につきましては、2.5円とさせていただきました。今期におきましても、当社の基本配当政策である年5円配当を実施できる見込みです。今後も継続して年5円以上の配当を実施できますよう、引き続き経営努力を重ねてまいります。

中之島線を来年秋に開業

京阪グループは昨年4月から、成長のための収益力強化3ヵ年

計画「Jump21」に取り組んでおります。本経営計画では、中之島線開業による京阪グループの事業エリア拡大を最重点項目のひとつと位置づけておりますが、その中心となる中之島線建設工事は順調に進捗しております。本年10月31日には、シールドマシンによるトンネル掘削工事が完了し、天満橋駅～中之島駅の全4駅・約2.9kmが貫通いたしました。これにより開業時期が具体化し、平成20年秋に開業できる見込みとなりました。

開業後のダイヤでは、中之島線と京都を直通で結ぶ列車用に新型車両を投入することを決定いたしました。その他のダイヤの詳細につきましては、淀屋橋駅・北浜駅をはじめとする全駅において、現在ご利用いただいているお客さまの利便性も考慮しながら、決定してまいります。また、中之島線の各駅は、中之島エリアの持つ国際的・文化的な特性と、豊かな自然環境、歴史的建造物に鑑み、「水都大阪のゲートステーションの構築―水辺への導入空間―」をデザインテーマに「木」、「水」、「緑」を採り入れたデザインといたします。

今後も、約1年後の開業に向けて、着実に準備を進めるとともに中之島エリアの再開発やイベントの開催などに積極的に参画し、中之島エリアの活性化および中之島線の需要創造を推進してまいります。

「競争力のある一回り大きな企業グループ」へ

昨年11月、開業100周年（平成22年）から10年後の平成32年度を見据えた、京阪グループ経営ビジョン「“選ばれる京阪”への挑戦」を発表いたしました。

このビジョンにおいて、国際観光都市・京都における観光目的のお客さまに対する事業強化をうたっておりますが、その実現への第一歩としまして、JR京都駅前のランドマークともいべき「京都タワー」を運営する京都タワー株式会社を連結子会社化いたしました。さらに、中之島線開業に合わせて、京都・東山エリアの3駅の駅名を、全国的に有名な観光名所・エリア名と結びつけた名称に変更することで、全国での「京阪」の知名度およびブランドイメージの向上を図ってまいります。そして、「京都といえば京阪」と言っていいただけるよう、今後も積極的に京都での事業展開に力を入れてまいります。

なお、当期におきましては、食品スーパーの「フレスト」について大和田店・駒川店の2店舗を新たに开店いたしましたほか、京阪百貨店住道店（仮称）の开店を決定いたしました。ホテル京阪においては、初めての近畿圏外での展開となる札幌店の开店計画に着手しております。また、運輸業においては「安全管理規程」を制定し、経営トップから現場まで一丸となった安全管理体制の構築に取り組んでおります。

今後もそれぞれの事業において、お客さまからの信頼の維持・向上に努め、沿線外にも通用するブランドの育成と事業拡大を図り、競争力のある一回り大きな企業グループづくりに取り組んでまいります。

企業価値・株主価値の最大化に向けて

京阪グループでは、「京阪グループ経営理念」のもと、内部統制システムの整備・構築をはじめ、社外取締役による経営監督機能の充実など、コーポレートガバナンスの強化に取り組んでおります。今後も、法令を遵守し、地球環境保全への取り組みといった企業としての社会的責任を果たすことにより、地域社会やお客さま、株主のみなさまの信頼に応え、「選ばれる京阪」の実現をめざし、さらなる企業価値・株主価値の向上に努めてまいります。

引き続き、株主のみなさまにおかれましては、なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成19年12月

（平成19年11月現在）

京阪グループネットワーク

■運輸業

京阪電気鉄道(株)
叡山電鉄(株)
京福電気鉄道(株)
(株)京阪エンジニアリングサービス
(株)京阪レジャーサービス
中之島高速鉄道(株)
(株)京阪ステーションマネジメント
(株)京阪交通社

(株)京阪エージェンシー
京阪ライフサポート(株)
(株)京阪バスシステムズ
京阪バス(株)
京阪シティバス(株)
京阪京都交通(株)
京阪バスサービス(株)
ケービー・エンタープライズ(株)

京阪宇治バス(株)
江若交通(株)
(株)ザ・コジャック
京都バス(株)
ケーター自動車工業(株)
(株)京阪タクシーシステムズ
京阪タクシー(株)
滋賀京阪タクシー(株)
敦賀京阪タクシー(株)
(株)トラベル京阪
宇治京阪タクシー(株)
大阪京阪タクシー(株)
汽船タクシー(株)

■不動産業

京阪ビルディング(株)
京阪カインド(株)
京阪電鉄不動産(株)
京阪産業(株)
(株)かんこう
(株)ソイルエンジニアリング
(株)文化財サービス
京阪園芸(株)

■流通業

(株)京阪流通システムズ
(株)京阪百貨店
(株)京阪友の会
(株)京阪ザ・ストア
(株)京阪レストラン
(株)ジュースバー・コーポレーション
(株)京阪エバーナイス社

■レジャー・サービス業

(株)琵琶湖ホテル
琵琶湖ホテルサービス(株)
(株)ホテル京阪
(株)京阪アーバンシステムズ
(株)京阪リゾートシステムズ
京都タワー(株)
琵琶湖汽船(株)
琵琶湖汽船サービス(株)

琵琶湖汽船食堂(株)
大阪水上バス(株)
比叡山鉄道(株)
(株)樺葉(ブリック・ゴルフ・コース)
比叡山自動車道(株)
(株)ガーデンミュージアム比叡
京阪福井国際カントリー(株)

■その他

(株)大阪マーチャンダイズ・マート
(株)京阪ビジネスマネジメント
(株)京阪フィナンシャルマネジメント
(株)京阪ベンチャービジネス
(株)京阪カード

街をつなぐ
KEIHAN GROUP

財務諸表

中間連結貸借対照表の要旨

(平成19年9月30日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	127,044	流動負債	164,265
現金及び預金	21,023	支払手形及び買掛金	18,204
受取手形及び売掛金	24,135	短期借入金	84,374
たな卸資産	65,752	前受金	23,203
繰延税金資産	7,897	その他	38,483
その他	8,236	固定負債	272,876
固定資産	447,475	社債	52,525
有形固定資産	384,445	長期借入金	115,733
建物及び構築物	181,575	長期未払金	17,090
機械装置及び運搬具	19,143	退職給付引当金	16,367
土地	155,131	その他	71,160
建設仮勘定	24,115	負債合計	437,141
その他	4,479	(純資産の部)	
無形固定資産	6,450	株主資本	93,490
投資その他の資産	56,580	資本金	51,466
投資有価証券	49,698	資本剰余金	28,809
繰延税金資産	2,018	利益剰余金	14,023
その他	4,863	自己株式	△808
		評価・換算差額等	40,497
		その他有価証券評価差額金	16,988
		土地再評価差額金	23,508
		少数株主持分	3,391
		純資産合計	137,379
資産合計	574,520	負債純資産合計	574,520

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 有形固定資産の減価償却累計額

324,981百万円

中間連結株主資本等変動計算書の要旨

(平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計		
前期末残高	51,466	28,806	11,250	△743	90,780	23,093	23,508	46,602	1,552	138,935
当中間期変動額										
剰余金の配当			△1,409		△1,409					△1,409
中間純利益			4,182		4,182					4,182
土地再評価差額金取崩額			0		0					0
自己株式の取得				△79	△79					△79
自己株式の処分		3		14	17					17
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)						△6,104	△0	△6,104	1,838	△4,265
当中間期変動額合計	—	3	2,772	△65	2,710	△6,104	△0	△6,104	1,838	△1,555
当中間期末残高	51,466	28,809	14,023	△808	93,490	16,988	23,508	40,497	3,391	137,379

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書の要旨

(平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)

(単位:百万円)

科目	金額
営業収益	127,941
営業費	118,585
営業利益	9,355
営業外収益	1,053
営業外費用	2,910
経常利益	7,498
特別利益	473
特別損失	539
税金等調整前中間純利益	7,432
法人税、住民税及び事業税	3,562
法人税等調整額	△482
少数株主持分	170
中間純利益	4,182

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)

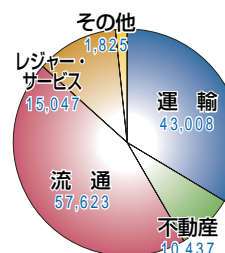
(単位:百万円)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,307
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,225
財務活動によるキャッシュ・フロー	△287
現金及び現金同等物の減少額	△2,205
現金及び現金同等物の期首残高	26,574
現金及び現金同等物の中間期末残高	24,368

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

事業別連結営業収益

(単位:百万円)



中間貸借対照表の要旨

(平成19年9月30日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	72,100	流動負債	94,092
現金及び預金	8,956	短期借入金	49,626
未収金	2,264	未払金	9,345
販売土地建物	45,019	預り金	4,941
その他	15,860	その他	30,178
固定資産	385,309	固定負債	237,025
鉄道事業固定資産	200,254	社債	50,000
兼業固定資産	95,484	長期借入金	95,769
各事業関連固定資産	3,623	長期未払金	15,957
建設仮勘定	23,541	再評価に係る繰延税金負債	41,439
投資その他の資産	62,406	退職給付引当金	8,543
関係会社株式	22,785	預り保証金及び敷金	18,626
投資有価証券	37,399	その他	6,689
その他	2,221	負債合計	331,118
		(純資産の部)	
		株主資本	85,988
		資本金	51,466
		資本剰余金	28,809
		利益剰余金	6,521
		自己株式	△808
		評価・換算差額等	40,303
		その他有価証券評価差額金	16,795
		土地再評価差額金	23,508
		純資産合計	126,292
資産合計	457,410	負債純資産合計	457,410

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 有形固定資産の減価償却累計額 253,928百万円

中間株主資本等変動計算書の要旨

(平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計		
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計				
前期末残高	51,466	12,868	15,937	28,806	4,740	4,740	△743	84,269	22,824	23,508	46,333	130,603
当中間期変動額												
剰余金の配当					△1,409	△1,409		△1,409				△1,409
中間純利益					3,190	3,190		3,190				3,190
土地再評価差額金取崩額					0	0		0				0
自己株式の取得							△79	△79				△79
自己株式の処分		3	3				14	17				17
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)									△6,029	△0	△6,029	△6,029
当中間期変動額合計	—	—	3	3	1,780	1,780	△65	1,718	△6,029	△0	△6,029	△4,311
当中間期末残高	51,466	12,868	15,941	28,809	6,521	6,521	△808	85,988	16,795	23,508	40,303	126,292

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間損益計算書の要旨

(平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)

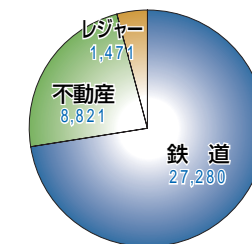
(単位:百万円)

科目	金額
営業収益	37,572
営業費	29,724
営業利益	7,848
営業外収益	1,103
営業外費用	2,352
経常利益	6,599
特別利益	119
特別損失	649
税引前中間純利益	6,070
法人税、住民税及び事業税	3,109
法人税等調整額	△230
中間純利益	3,190

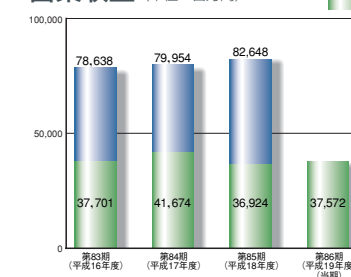
(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 1株当たり中間純利益 5円66銭

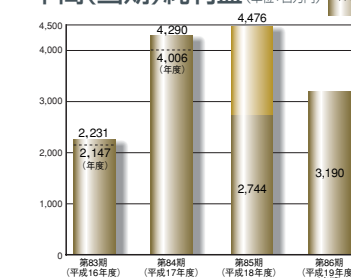
事業別営業収益 (単位:百万円)



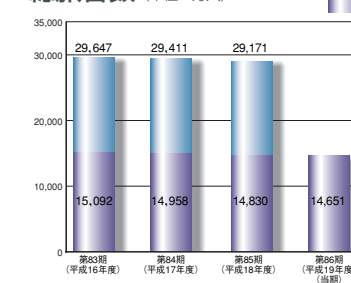
営業収益 (単位:百万円)



中間(当期)純利益 (単位:百万円)



総旅客数 (単位:万人)



中之島線は平成20年秋の開業をめざします ～トンネル全線貫通～

中之島高速鉄道株式が建設・保有主体、当社が運行主体として進めています中之島線建設工事は平成14年に都市計画決定および工事施行認可を受け、平成15年に着工、現在まで順調に進捗してまいりました。本年10月31日(水)には、シールドトンネルが無事に全区間貫通しました。

これに伴い、鉄道施設完成までのスケジュールに目途がたったことから、平成20年秋の開業をめざして、現在、軌道、電気、駅の内装や設備工事などを進めています。



「京阪電車お客さまセンター」を開設

11月26日(月)、経営ビジョンにも掲げているCS(顧客満足)向上を目的に、お客さまからのお問い合わせやご意見・ご要望を承る総合窓口として、「京阪電車お客さまセンター」を開設しました。

当センターでは、「運賃・ダイヤ・お忘れ物などに関するご質問」や、「当社へのご意見・ご要望」に対してきめ細かに対応していくとともに、“お客さまの声”を集約し、社内で情報共有することによって、より一層の事業改善を図っていきます。

【営業時間】 <平日> 9:00～19:00
<土日> 9:00～17:00
※年中無休(但し12/30～1/3は休業)

【電話番号】 06-6945-4560
※株式に関するお問い合わせは従来どおり
株式会社担当 ☎06-6944-2521まで(営業時間は平日の9:00～18:00)



安全報告書を公表

9月28日(金)、当社における安全管理体制や、安全への取り組みなどをまとめた「安全報告書」を公表しました。同報告書は当社ホームページに掲載しています。

今後も「事故のない京阪」を継続させるために、安全対策を積極的に推進し、お客さまに安心を提供してまいります。

掲載ホームページアドレス
(<http://www.keihan.co.jp/safety/index>)

早期地震警報システムを導入

6月16日(土)、大規模地震発生時の被害を最小限に抑えるため、「早期地震警報システム」を導入しました。

このシステムは気象庁から発信される緊急地震速報を受信後、当社線への影響を瞬時に判定し、影響ありと判定した場合は、列車無線を使用して全列車に自動的に通報するものです。通報を受けた運転士は、原則として速やかに列車を停止させて、被害の最小化を図ります。

中之島線開業にあわせて京都市内3駅の駅名を変更 ～「丸太町→神宮丸太町」「四条→祇園四条」「五条→清水五条」～

京都を訪れるお客さまがスムーズに目的地に向かえるように、京都市内の3駅の現駅名を、所在地が特定しやすい駅名に変更します。今回、変更を決定した駅は①丸太町、②四条、③五条の3駅で、それぞれ、①平安神宮にほど近いことから「神宮丸太町(じんぐうまるたまち)」、②全国ブランドの繁華街である祇園に隣接することから「祇園四条(ぎおんしじょう)」、③京都観光における訪問客第1位の清水寺界隈の最寄駅であることから「清水五条(きよみずごじょう)」とします。これにより、京都の観光路線としてのイメージを強調し、旅客誘致につなげていくこともめざしています。なお、駅名の変更は平成20年秋の中之島線開業に合わせて実施する予定です。今後も、お客さまによりご利用していただきやすい鉄道をめざした取り組みを続けていきます。

太秦天神川駅までの乗り入れを実施 ～琵琶湖と東山、嵐山が鉄道で結ばれます～

平成20年1月16日(水)、京都市営地下鉄東西線の太秦天神川駅までの延伸に合わせて、京阪京津線車両の直通運転区間を同駅まで延長します。また、京福電気鉄道株式も同駅に近接して新駅「嵐電天神川」を3月末に設置する予定です。これにより、京都市内の東西鉄道軸が整備され、琵琶湖と京都を代表する2大観光地、東山と嵐山が鉄道で結ばれることになります。

今後はより多くのお客さまにご利用いただけるよう、京都市交通局・京福電気鉄道株式と連携して企画乗車券などの発売を検討していきます。



10年ぶりに祇園祭・祇園囃子イベントを実施 ～京都の情報を発信～

7月10日(火)、天満橋駅構内で京都・祇園祭の名物「祇園囃子」を実演するイベントを10年ぶりに実施しました。

当日はお囃子衆が祇園囃子を披露したほか、舞妓さんや浴衣姿の女性が「厄除けのちまき」を配るなど、本番より一足先に祇園祭のムードを大阪のお客さまに味わっていただきました。

京阪グループは経営ビジョン「“選ばれる京阪”への挑戦」で、京都エリアでの事業強化を重要施策のひとつと位置づけており、京都の情報発信を強化していく取り組みの一環として同イベントを復活させました。



中期経営計画「Jump21」を推進

～流通事業、ホテル事業、不動産事業などを強化します～

京阪京橋片町口ビル(仮称)の建設を発表 ～花月劇場を誘致～

当社京橋駅前の社有地において、今後、敷地整序型の土地区画整理事業を施行し、平成20年秋の開業を目的に「京阪京橋片町口ビル(仮称)」を建設します。

同ビルは当社が建設・保有し、(株)京阪流通システムズが運営・管理します。核テナントとして吉本興業(株)の「京橋花月」劇場を同ビル最上階の5階に誘致し、1～4階については現在、「笑・遊・美」をテーマに店舗の選定を進めています。



▲完成イメージ(デザインの詳細は、今後決定してまいります。)

京都タワー(株)を連結子会社化 ～京都における事業を強化～

8月30日(木)、京都タワー(株)の株式を取得し、連結子会社化しました。

当社は以前から、京都タワー(株)の筆頭株主として同社の経営に参画してきましたが、より強く経営に関与することによって、時代の変化に応じた機動的な経営を可能にするとともに、京都の活性化に貢献することが目的です。また、グループ経営ビジョンにおいて、国際観光都市京都における事業強化をうたっており、その一環として実施したものです。



宇治デイサービスセンターをオープン ～京都府下に初開設～

11月1日(木)、京阪ライフサポート(株)は「宇治デイサービスセンター」をオープンしました。

同センターは、同社直営の高齢者向け日帰り通所施設で、3施設目の開設となります。ご高齢者の体力と気力の向上、健康づくりを目的に最新型のリハビリマシンやカラオケ、足湯など充実した設備を導入し、様々なプログラムをご用意しています。

介護事業は、「快適な生活環境を創造し社会に貢献する」という京阪グループの経営理念に合致していることから、今後もデイサービス事業をはじめ、介護付有料老人ホーム、訪問介護事業など、沿線での事業の充実を図ってまいります。



ホテル京阪札幌(仮称)を出店 ～ホテル京阪 全国展開へ～

平成21年春、(株)ホテル京阪は、北海道札幌市のJR札幌駅北西側近接地に、「ホテル京阪札幌(仮称)」を出店する予定です。京阪グループの「宿泊特化型ホテル」としては近畿圏外初の出店となります。

ホテル京阪は、大阪地区、京都地区において、客室稼働率で、常にエリアトップを争うなど、ビジネス・観光にご利用のお客さまから高い支持を得ています。

今後、ホテル京阪を「全国チェーンホテル」として認知していただけるよう、多店舗化していくとともに、近畿圏外での京阪ブランドの知名度向上もめざします。



平成22年秋 京阪百貨店住道店(仮称)を出店

平成22年秋、(株)京阪百貨店はJR学研都市線住道駅前の「ポップタウン住道オペラパークショッピングセンター(仮称)」内へ「京阪百貨店住道店(仮称)」を出店する予定です。

京阪百貨店は地域に密着した「郊外型百貨店」として、京阪沿線を中心に多くのお客さまにご愛顧いただいています。今回、出店を決定した「住道店(仮称)」はこれまでのビジネスモデルをベースに、「家族愛あふれる百貨店」をコンセプトとし、ニューファミリー層をターゲットにしたライフスタイル提案型の売場作りをめざします。今後はさらなる多店舗化も視野に入れ、郊外型百貨店としてのポジショニングの強化と業容の拡大を図っていきます。



フレスト大和田店を出店 ～沿線内外への出店を加速～

9月26日(水)、(株)京阪ザ・ストアはスーパーマーケット「フレスト大和田店」を、大和田駅高架下にオープンしました。また、12月6日(木)には大阪市営地下鉄谷町線・駒川中野駅近くに「フレスト駒川店」をオープンしました。

「フレスト」は当社が運営を行う、直営スーパーマーケットで、(株)京阪百貨店とも連携しながら、ワンランク上のクオリティをご提供することで、スーパーと百貨店の融合を図り、競合店との差別化を実現しています。

今後もスーパーマーケット事業のさらなる成長をめざし、京阪沿線の内外を問わず、積極的に出店を行ってまいります。



工事は順調に進捗！ 中之島線のトンネルが全線貫通しました！

中之島高速鉄道株と当社では、平成20年秋の開業をめざして中之島線建設工事を進めています。今回は、全線で貫通したシールドトンネル建設工事といよいよ始まった軌道工事を紹介します。昨年10月末に先陣を切って中之島駅から発進したシールドマシンに続き、渡辺橋駅、大江橋駅、なにわ橋駅からそれぞれシールドマシンが発進し、合計5台のマシンで掘削を行っていましたが、本年10月31日、大江橋駅において無事、全線が貫通しました。

また、中之島駅では本年9月初旬からレールを地下に搬入し、軌道工事が始まりました。今後、全線で軌道、電気、駅の内装・設備などの工事を順次進めていきます。



▲大江橋駅でのトンネル貫通式



▲中之島駅付近軌道敷設状況

「水都大阪のゲートステーション」中之島線の駅デザインが決定しました！

大阪の文化・ビジネスの中心であり、水都大阪のシンボルゾーンでもある中之島エリアに相応しいものにするため『水都大阪のゲートステーションの構築 — 水辺への導入空間 —』をデザインテーマといたしました。

中之島線には新たに、「なにわ橋駅」「大江橋駅」「渡辺橋駅」「中之島駅」の4駅が設置されますが、全ての駅の共通コンセプトとして、改札外コンコースを「木（無垢）」や「ガラス」等を主な素材に用いた仕様とすることにいたしました。ガラスについては、そのきらめきから川面を流れる「水」を象徴する素材として、「木（無垢）」については、公園の木々や街路樹などを表現するのに加え、国際都市であるがゆえに求められる「和」の感覚や、落ち着いた「大人の街」中之島にふさわしい駅を象徴する素材として使用いたします。



▲大江橋駅コンコースイメージ

会社の概要 (平成19年9月30日現在)

■設立	昭和24年12月1日(営業開始日) (創立:明治39年11月19日)	■本社事務所	大阪市中央区大手前1丁目7番31号
■資本金	51,466,416,776円	■主要な事業内容	①鉄道事業(鉄軌道による旅客運輸) ②不動産事業(土地建物の販売および賃貸) ③レジャー事業(遊園地などの経営)
■発行可能株式総数	1,595,886,000株	■営業キロ	88.1km
■発行済株式の総数	565,913,515株	■車両数	730両
■株主数	62,584名		
■従業員数	1,754名		

株主メモ

■事業年度	4月1日から翌年3月31日	■株主名簿管理人	中央三井信託銀行株式会社
■定時株主総会	6月	■同事務取扱所	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 (郵便物送付先) 電話お問い合わせ先
■基準日	3月31日	■同取次所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店・全国各支店
■定時株主総会 期末配当 中間配当	3月31日 3月31日 9月30日(行う場合)		
■公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。		
■電子公告掲載 ホームページアドレス	http://www.keihan.co.jp/koukou/		

単元未満株式の買増請求・買取請求のご案内

ご所有株式のうち、単元未満株式(1,000株未満の株式)につきましては、市場で売買することはできませんが、次のいずれかを利用して整理していただくことができます。

- 1. 単元未満株式の買増制度**
当社に対して、単元株式(1,000株)に不足する株式数の市場価格による売り渡しを請求し、ご所有の単元未満株式と合わせて、1,000株にすることができます。
- 2. 単元未満株式の買取制度**
当社に対して、ご所有の単元未満株式の市場価格による買取りを請求することができます。

配当金のお受取りについてのご案内

配当金のお受取りには、次のいずれかをご利用いただけます。
①配当金領収証 ②銀行預金口座への振込 ③ゆうちょ銀行貯金口座への振込
配当金のお受取りは、早く確実なお受取り方法として、銀行預金口座への振込またはゆうちょ銀行貯金口座への振込をお勧めします。

株式に関するお問い合わせ(中央三井信託銀行 証券代行部)
(フリーダイヤル)0120-78-2031(銀行営業日の9:00~17:00)
各種手続き用紙のご請求は、下記の電話またはインターネットでも24時間受付しております。
(フリーダイヤル)0120-87-2031(自動音声案内)
インターネット/ホームページアドレス http://www.chuomitsuui.co.jp/person/p_06.html

〔証券保管振替制度をご利用の方は、お取引の証券会社へお問い合わせください。〕
〔なお、配当金のお受取り方法の変更については、中央三井信託銀行にて承っております。〕

役員

(平成19年9月30日現在)

代表取締役会長	佐藤 茂雄
代表取締役社長	上田 成之助
執行役員社長	西田 寛
専務執行役員	櫻井 謙次
取締役役員	小川 雅人
常務執行役員	加藤 好文
取締役	高橋 温
取締役	寺田 千代乃
常務執行役員	西谷 徹
常務執行役員	脇 博一
常務執行役員	岸 元士
執行役員	中井 保
執行役員	田中 均
執行役員	下條 弘
執行役員	井関 隆政
執行役員	向井 寛行
執行役員	永井 博
執行役員	末近 義治
執行役員	塩田 正
執行役員	木村 靖夫
監査役(常勤)	片本 皖也
監査役(常勤)	中田 努
監査役	家近 正直
監査役	柘田 圭兒
監査役	上野 至大